

INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね!

7月の第3戦に続き今シーズン2度目、そしてシーズンファイナルとなる全日本開催。会場に着いたらモータースポーツではモトクロスだけの横一線スタート、全国そして世界から集まったトップライダーたちのスピードとテクニック、ジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつバトルをまずは楽しんでください。

最初は土

1コーナーをトップで立ち上がること
をホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。応援するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来る

見かけたら落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

選手紹介でここに手を振ってくれたとかスタートで飛び出して来たぞとか後ろからすごい勢いで追いついてきたとかジャンプでバイクを捻ったぞとウエアがド派手だとか…気になるライダーがいいたらプログラムをチェック。全体を見ようとすると誰がどこで誰がなにやら分からなくなってしまうので、最初は誰か一人に的を絞って観戦すると、スタートからチェッカーを受けるまでレースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかと思って思えるし、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

感染対策しながらの観戦マナーを守って楽しんで!

今シーズンからは一般観客のバンドック入場制限がなくなりました。とはいえ新型コロナウイルスはまだまだ油断できない状況。全国から関係者が集まる大会だけに、今回も咳エチケットはもちろん、ソーシャルディスタンスなど感染対策に留意しながらの観戦をお願いします。その上で出店ブースでの食事やお買い物など楽しんでいただければと思います。

大声で応援出来ないなんてつまらないと思っている方、それは正しい意見です。ライダーだって応援があるから頑張れるんです。応援はしましよ。でもどうやって!?

お手元のスマートフォンで右のQRコードにアクセスしてみてください。上が

最終戦はココを見る!
この山本 鮎が教える
全日本選手権V7チャンプ
山本 鮎が教える
最終戦はココを見る!
IA2に続いてIA1、IB Openもタイトル
を獲得する。川井選手にもチャンスがあるし、ぜひしっかりと
応援してください。

煙を巻き上げて走るモトクロスなら

ではの迫力を身近に感じてもらえればいいと思うんです。時代はEパワーに大きく方向転換しようとしています。だったら尚のことエンジンの全開サウンドを耳に焼き付けてください。

そしてスタート。ゲートダウンへの反応と1コーナーへのダッシュが結果を大きく左右するモトクロス。ゲートインの順番が塞がれて、アウトからスルスル抜け出す場合もあります。ちなみにここSUGOは1コーナーの形状が他とは違って、大外グリッドにもチャンスがあることで知られています。

最終戦はココを見る!
この山本 鮎が教える
全日本選手権V7チャンプ
山本 鮎が教える
最終戦はココを見る!
IA2に続いてIA1、IB Openもタイトル
を獲得する。川井選手にもチャンスがあるし、ぜひしっかりと
応援してください。

ング、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。でもよく見るとオレンジのKTMと白のハスクバーナが混じっていたり、GASGASというメーカーはホンダと同じ赤い外装だったりします。

ゼッケンは白地がIA1、黒字がIA2、青がIB…なんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラーなんです。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーはより速いと覚えてください。



D.I.D.®
DIRT STAR®

あれ、IA1には01が、IA2には02~07のライダーがいますね。ゼロゼッケンをつける彼らは今年IAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。新入生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位や

タイムをリアルタイムで見ることが出来ます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはず。

土曜日は各クラスの練習走行、予選、LMXとIB Open Heat1 決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ずっとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービースプースにも出かけてみてください。

各社出店や展示ブースも必見です。転倒などアクシデントが多い競技なのでライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なども出店ブースでぜひご覧になってください。余裕があったら下の第2、第3バンドックにも足を運んでみてください。

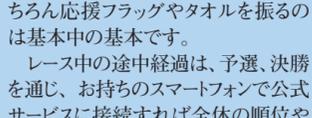
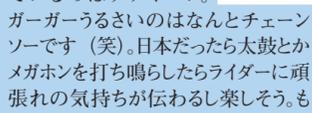
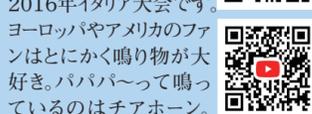
今回は若干レイアウトが変更されたSUGO。急な上り坂もありますが、1度は全体をぐるっと歩いてみて、勝負のポイントとライダーに声援が届く最適な観戦ポイントをぜひ見つけてください。

今シーズンはLINEでお届けMXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MIXING」ですが、今年にはLINE公式アカウントを用意してみました。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。ぜひ登録ください。

編集後記
今回注目ライダーインタビューに登場してもらったIA2クラス新チャンピオンのジェイ・ウィルソン選手。取材中に「こんな仕事もさせてもらったんだ。」と教えてくれたのが右上の動画です。電動アシストMTB YAMAHA YPJ-MT Proのプロモーションムービー。これメッチャ楽しそう。乗ってみたいくなりますよね! 必見です!!

MXING & MC Square 木田 淑



Technix suspension service
WWW.technix.jp



予選で転倒に巻き込まれ不利なスタートから強いられるも冷静なレース運びで上位に進出、最高峰クラスでは初となるタイトルに輝いた#2富田俊樹 Photo/K.Kida

第60回MFJ-モトクロス大会 D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2022 第7戦SUGO大会は、11月12~13日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。IA2クラスのJ.ウィルソンに続きIA1富田俊樹、IB Open西岡蒼志がタイトルを決めた一方、チャンピオン争いが最後までもつれ込んだレディースクラス。果たして栄冠は誰の手に、そしてシーズンファイナルの主役となるのは誰か。熱き戦いのドラマを見逃すな!!

国内最高峰クラス初の栄冠を手にした新王者富田俊樹

シーズンを通しほぼ全てのレースでトップ争いを展開。ここまで14ヒートを戦って7勝、表彰台を逃したのが僅か1ヒートのみという正に圧倒的な強さと安定感で、ついに国内最高峰IA1クラスのチャンピオンに輝いた富田俊樹(#2/ヤマハ)が8月に及んだシーズンを締めくくる。

4月にHSR九州で行われた開幕戦をパーフェクト優勝で制した富田。続く関東大会では星野優位(#8/ヤマハ)と能塚智寛(#3/カワサキ)、第3戦SUGOでは大城魁之輔(#22/ホンダ)、第4戦近畿大会では下田丈(#30/カワサキ)、タイトル決定戦となった前回関東大会では大城と渡辺祐介(#4/ヤマハ)に勝利を許したものの、勝率5割をキープして栄冠を勝ち取り歴史に名を刻んだ富田。新チャンピオンとして臨む最終戦で富田がどんなレースを展開するかまずは注目して欲しい。

連勝Vに挑むJ.ウィルソン その快進撃を止められるか!?

出場選手平均年齢が20代前半と若手中心で争われるIA2クラスは、今季全日本にフル参戦するオーゼーライダーのジェイ・ウィルソン(#16/ヤマハ)が日本人ライダーを完全に圧倒。開幕から負け知らずの全ヒート優勝で早々とタイトルを決めて見せた。新チャンピオンとして臨んだ前回関東大会のトリプルヒートも完勝し、ついにシーズンパーフェクトの偉業に挑むジェイ。もちろんライバルたちもこのまま負け続けでは終われない。ランキング2番手に付けるのは17歳の柳瀬大河(#10/ホンダ)。僅差で浅井亮太

マナーを守って楽しく観戦!!

- 1.入場時には検温と体調チェックに協力を
- 2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
- 3.声援+フラッグや拍手で応援しよう!
- 4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

久保が悲願の初タイトルに挑む 最後まで目が離せないLMX

開幕から3連続トップフィニッシュを果たした小野彩葉(#4/ホンダ)の快進撃で幕を開けたレディースクラス。しかし小野は、第3戦SUGO大会のレース後審議で1順位降格のペナルティを受け、ここから一気に流れが変

国内最高峰クラス初の栄冠を手にした新王者富田俊樹

わる。土日2ヒート制で行われた第4戦近畿大会では、地元久保まな(#3/ホンダ)と本田七海(#2/ヤマハ)が優勝を分け合い、勢いに乗った久保は続く九州大会で今季2勝目をマークしてランク首位に浮上。川井麻央(#1/ホンダ)が今季初Vを飾るが、ランキング争いでは久保がリードを広げて最終戦を迎えた。久保が悲願の初タイトルに手にするのかそれとも本田、小野、川井が巻き返すのか。ここに楠本菜月(#5/ハスクバーナ)や畑尾樹瑛(#27/ホンダ)がどう絡んでくるか。ドラマチックなバトルから目が離せそうにない。IA昇格のボーダーラインが気になるIB Openや地元ライダーが数多くエントリーしているジュニア、チャイルドクラスにもぜひ注目。公式プログラムでゼッケンやマンの色、出身地などをチェックし、地元ライダーやルーキー選手には特に温かい応援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2022スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月9~10日	熊本県/HSR九州
第2戦	関東大会	5月14~15日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	7月16~17日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	近畿大会	9月10~11日	奈良県/名阪スポーツランド
第5戦	HSR九州大会	10月8~9日	熊本県/HSR九州
第6戦	関東大会	10月29~30日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第7戦	MFJ-GP	11月12~13日	宮城県/スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第7戦 MFJ-GP大会 開催おめでとうございます。

HONDA **YAMAHA** **SUZUKI**
Revs Your Heart

左のQRコードは、今大会のライブタイムリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。